

CPC 課題レポート

2023 年 4 月 19 日（水） 第 1391 回 CPC

92 番 岡野雄士

課題

1. 剖検が必要と考えられた根拠となった、臨床的な問題点を箇条書きで記しなさい。

- ・ 膵頭十二指腸切除術後の膵液漏・胆汁漏・胃空腸吻合部縫合不全に関して、病理組織学的に癒着が生じていたか？
- ・ 長期にわたる透析歴のあった本症例において、膵頭十二指腸切除術の適応ありと下された判断は妥当であったのか？
- ・ 34POD での急速進行した著明な代謝性アシドーシスの原因について

2. 病理解剖で認められた主要な所見を、箇条書きで記しなさい。

- ・ 腫瘍の再発や転移の所見なし
- ・ 吻合部が赤褐色調（炎症や出血を繰り返していたことが示唆される）
- ・ 胃空腸吻合部にて、巨視的な離解部あり
- ・ 同吻合部にて線維芽細胞の浸潤所見なし
 - － 透析の影響で線維芽細胞の増生が抑制されたか？
- ・ 小腸・大腸の粘膜に虚血性腸炎を疑う所見なし
- ・ 空腸にて好中球の集簇・壊死所見を示す膿性付着物を認めた
- ・ 両側肺の著明な重量増加
- ・ 左肺肺門部肺動脈や右肺上葉・下葉に白色調の血栓を認める
 - － 組織学的に新鮮血栓を認めた
- ・ 右肺底部に楔状褐色調の出血性梗塞巣示す
 - － 血管内部に血管の再疎通所見を認めた
- ・ 両側腎臓の著明な萎縮・脂肪組織拡大・腎実質の菲薄化
 - － 糸球体萎縮・不明瞭化
 - － 尿細管拡張
- ・ 心臓の重量増加・右室の拡大
 - － 心内膜の線維化・心筋の contraction band necrosis（それぞれ陳旧性心筋梗塞および死亡直前の心筋梗塞を示唆）
- ・ 肝臓の重量増加・黄褐色化
 - － 中心静脈域での肝細胞の脱落・マクロファージの浸潤所見（小葉中心性の肝細胞壊死）
- ・ 肝外門脈に血栓所見・中膜の脱落所見あり

- 大動脈にて高度な粥状硬化症所見

3. 臨床的な問題点が病理解剖によりどのように解決したか、文章で説明しなさい。

組織吻合に関しては、吻合部は組織学的にも癒合していなかったと結論づけられる。手術適応については、透析が起因となり死に至ったと考えて矛盾が生じない所見が得られたため、本症例においては結果として手術適応はなかったと考えられる。34PODでの急速なコントロール悪化の原因としては、肺・心臓・肝臓などの主要臓器における血栓性梗塞が考えられる。

4. 本症例が死に至った病態について、自分が理解した内容を文章で説明しなさい。

背景として透析歴があることで、線維芽細胞の増生が抑制されるなどして吻合不全が生じ、術後の瘻液漏を生じ、門脈血栓やDICなどを惹起することで肺・心臓・肝臓などの主要な臓器で血栓性梗塞を生じ、細胞が壊死に至ることで機能低下を示し、死に至った。